

臨床研究へのご協力をお願い

松江地区における *BRCA* 遺伝子病的バリエント保持者と非保持者の臨床病理学的因子の比較検討

(研究目的)

乳がんと診断された方の約 10%は遺伝性の乳がんといわれています。その内、*BRCA* 遺伝子の病的バリエントによって生じる遺伝性乳がん卵巣がん症候群は、遺伝性のがんの中で最も頻度が高い疾患です。一方、松江地区における遺伝性乳がん卵巣がん症候群の特徴や *BRCA* 遺伝子のバリエントの特徴は明らかになっていません。そこで、松江地区の遺伝性乳がん卵巣がん症候群を主に診療している松江市立病院と松江赤十字病院における *BRCA* 遺伝子病的バリエント保持者と非保持者の特徴を比較し、松江地区における *BRCA* 遺伝子病的バリエント保持者の特徴を明らかにしていきます。そして、*BRCA* 遺伝子病的バリエント保持者の松江地区特有の新たな医学的管理方法をみだし、今後の健康管理に役立てることを目的としています。

(研究対象)

2018 年 7 月 1 日～2025 年 12 月 31 日に、松江市立病院または松江赤十字病院で *BRCA* 遺伝子検査を行った患者さん。

(研究期間)

松江市立病院および松江赤十字病院の倫理委員会で承認後～2026 年 3 月 31 日まで。

(研究方法)

松江市立病院では 2018 年 7 月 1 日～2025 年 12 月 31 日に *BRCA* 遺伝子バリエント保持者と非保持者両方の結果を調べます。松江赤十字病院で *BRCA* 遺伝子バリエント保持者と診断された患者さんの診療記録や病理結果などを調べます。そして両病院の結果を統合し解析します。診療記録や病理結果は匿名化されます。患者さんのお名前や個人を識別する情報は使用されませんので、個人情報を守られます。

(情報の保管・管理)

研究データは、松江市立病院、松江赤十字病院で厳重に保管します。

(利益相反)

なし。

(研究成果の公表)

研究成果は、日本人類遺伝学会、日本乳癌学会等の学会や論文によって発表する予定です。

(問い合わせ先)

研究への協力を希望されない場合は、ご自身が検査をした病院の下記問い合わせ先まで連絡をお願いします。

松江市立病院 ゲノム診療科、乳腺・内分泌外科 内田尚孝 電話：0852-60-8000

松江赤十字病院 乳腺外科部 曳野肇 電話：0852-24-2111